

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： コロン（緩効性窒素肥料）
供給者の会社名称： 片倉コープアグリ株式会社
住所： 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
担当部門： 生産技術本部 生産技術部
電話番号： 03-5216-6614
FAX番号： 03-5216-6621
緊急連絡先： 03-5216-6614
推奨用途： 肥料、肥料原料
使用上の制限： 推奨用途に限る

輸入者の会社名称： 丸紅株式会社
住所： 東京都千代田区大手町一丁目4番2号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告
危険有害性情報： 皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き：

安全対策

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

GHS分類の結果、該当なし。
「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照すること。

廃棄

GHS分類の結果、該当なし。
「13. 廃棄上の注意」を参照すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名：液状窒素肥料
(尿素、メチレン二尿素、メチレン尿素由来の混合物)

成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
尿素、メチレン二尿素、 メチレン尿素由来の混合物	100	57-13-6 (尿素) 13547-17-6 (メチレン二尿素)	適用外	既存

※ 肥料登録済み 登録番号 輸第13478号 (液状窒素肥料) 窒素全量 27.0%

安衛法 表示通知対象物質： 非該当
化管法 (PRTR法)： 非該当
毒物及び劇物取締法： 非該当

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
直ちに医師に連絡し、診察/手当を受ける。

皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤やシンナーは使用しない。
皮膚刺激のある場合は医師の診察/手当を受ける。

眼に入った場合： 直ちに大量の清浄な流水で数分間以上洗う。次にコンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外す。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
眼刺激のある場合は医師の診察/手当を受ける。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐ。
安静にし医師の診察/手当を受ける。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護： 適切な保護具 (保護メガネ、保護マスク、保護手袋、保護衣、保護靴、保
護帽等) を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性のものとする。

特別な注意事項： 異常がある場合は医師の診察を受けること。
意識のない時は何も口から与えないこと。
嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 周辺火災に適した消火剤 (粉末、泡、二酸化炭素、噴霧水 (ミスト水)、
乾燥砂等) を使用すること。

使ってはならない消火剤： 周辺火災による。

火災時の特有の危険有害性： 本製品は不燃性である。
熱分解や燃焼によりアンモニア、窒素酸化物、シアン酸アンモニウム、一
酸化炭素、二酸化炭素等を発生する。刺激性かつ有害なヒュームとなる場
合がある。

特有の消火方法： 可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。
関係者以外は風下を避け、安全な場所に退避させること。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。

消火活動を行う者の特別な保護具
及び予防措置： 防火服および自給式呼吸器等の消火用装備を着用すること。火災の風上に
立つこと。放水により収納設備を冷却すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置：

ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーなどの吸入を避けること。

皮膚や眼への接触を避けること。

作業の際には、適切な保護具（保護メガネ、保護マスク、保護手袋、保護衣、保護靴、保護帽等）を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性のものとする。

漏出物に触れたり、その上を歩かないこと。

環境に対する注意事項：

河川、土壌、排水溝等の環境への排出を避け、環境への影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

安全を確認してから、漏れやこぼれを止めること。

他の物質と混合が無い場合は回収物の再利用が可能。他の物質と混合した場合は吸着剤（土や粘土等）に吸着させ、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策：

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

全ての着火源を取除く。

飲食、喫煙を禁ずる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：
（局所/全体排気等）

局所排気や全体換気に注意し、換気の良い場所で取り扱うこと。

容器はその都度密栓し、飛散や漏れ等の発生を回避すること。

適切な保護具（保護メガネ、保護マスク、保護手袋、保護衣、保護靴、保護帽等）を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性のものとする。

安全取扱注意事項：

銅、亜鉛によりコーティングされた設備への本製品の接触を避けること。

容器や包装は注意深く取り扱うこと。

使用後の設備洗浄時に誤って上水道に混合しないようにすること。

接触回避：

強酸化剤（過塩素酸塩、亜塩素酸塩、亜塩酸塩、無機塩化物等）を避けること。

鉄、銅、亜鉛、アルミを避けること。

衛生対策：

皮膚や眼との接触を避けること。

粉じん、蒸気、ヒューム、スプレー、ミストの口や鼻からの吸入や吸引を避けること。

取扱後は手や顔をよく洗うこと。

取扱い中は飲食や喫煙を行わないこと。

誤飲を避けること。

保管

安全な保管条件：

直射日光を避け涼しい場所に保管する。

換気のよいところに保管する。

容器を密閉して保管すること。

人や動物の食べるものものと一緒に保管しないこと。

子どもを近づけないこと。

購入後6ヶ月以内に使用すること。

安全な容器包装材料：

購入時の容器から移し替えない。

耐薬品性のものを使用すること。

法令の定めに従うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：

作業者が直接触れたり、ばく露したりしないように配慮すること。

取扱い場所の全体排気と換気に留意する。

屋内や閉鎖場所での取扱いは、作業者が直接ばく露されない設備で行うか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるようにする。
眼、皮膚、体全体の洗浄ができる設備を取扱い場所の近くに設置し、その設置場所を明示し周知させること。
貯蔵庫やタンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。酸欠に気をつけること。
本製品との接触で腐食するので、装置設備は鉄、銅、亜鉛、アルミの材質を避けること。
取扱い場所の近くには、火気、着火源、高温となるものを置かないこと。
粉じんが積もらないようにすること。

許容濃度

成分名称	安衛法	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
尿素	—	—	—	—
メチレン二尿素	—	—	—	—

保護具

呼吸用保護具：適切な保護マスクを着用すること。作業内容や作業環境に応じて自給式呼吸器、送気マスク、電動ファン付き呼吸用保護具、防じんマスク、防毒マスクなども適宜使用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性とする。防毒マスクや吸収缶を使用する時はアンモニアに対応したものとする。

手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性とする。

眼の保護具：適切な保護メガネ（ゴーグル、保護面体などを含む）を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性とする。

皮膚及び身体^との保護具：皮膚を直接曝させないような適切な保護衣、保護靴、保護帽等を着用すること。材質は耐溶剤性、耐薬品性とする。

特別な注意事項：取扱う際には、飲食と喫煙を禁ずる。
取扱う際には、適切な労働安全衛生対策を施すこと。
誤飲を避け、ヒューム、粉じん、蒸気、ミストなどを吸い込まないこと。
皮膚や眼との接触を避けること。
取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
労働安全法令を遵守すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：透明緑色

臭い：僅かなアンモニア臭

融点・凝固点：-15℃

沸点又は初留点及び沸点範囲：102℃

可燃性：不燃性

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし（不燃性）

引火点：データなし（不燃性）

自然発火点：データなし（不燃性）

分解温度：データなし

pH：10.0～10.3

動粘度率：データなし

溶解度：水に易溶

n-オクタン-*l*/水分分配係数（log値）：データなし

蒸気圧：50 mmHg（21℃）

密度及び／又は相対密度： 1.265～1.285
相対ガス密度： データなし
粒子特性： 本製品は液体である。

10. 安定性及び反応性

反応性： 通常の条件（常温、常圧）での反応性は低い。
強酸化剤により酸化を受ける。
鉄、銅、亜鉛、アルミ等を腐食する。

化学的安定性： 通常の条件（常温、常圧）での操作、取扱い及び保管では安定
（取扱および保管に関する情報は7章を参照のこと）

危険有害反応可能性： 強酸化剤（過塩素酸塩、亜塩素酸塩、亜塩酸塩、無機塩化物等）と激しく
反応する。
分解によりアンモニアを発生する。

避けるべき条件： 過度の過熱、高温（105℃以上で熱分解する。）
裸火、着火源
埃の発生する条件

混触危険物質： 強酸化剤（過塩素酸塩、亜塩素酸塩、亜塩酸塩、無機塩化物等）
鉄、銅、亜鉛、アルミ等の金属

危険有害な分解生成物： 分解によりアンモニアを発生する。
熱分解や燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、アンモニア、窒素酸化物、
シアン酸アンモニウム等の有害ガス等を発生する。刺激性かつ有毒な
ヒュームとなる場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）： 分類できない。分類のための情報が十分でない。
（参考） 尿素（CAS 57-13-6）
LD50（ラット）8471 mg/kg
LD50（マウス）11 g/kg （区分に該当しない）

急性毒性（経皮）： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

急性毒性（吸入；気体）： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

急性毒性（吸入；蒸気）： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

急性毒性（吸入；粉じん・ミスト）： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

皮膚腐食性/皮膚刺激性： 区分2
長期若しくは数度の接触により軽い刺激あり。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A
液体との接触により軽度の刺激あり。霧状の場合にも軽度の刺激あり。

呼吸器感作性： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

皮膚感作性： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

生殖細胞変異原性： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

発がん性： 分類できない。発がん性は報告されていない（IARC、NTP、OSHA）が、分類
のための情報が十分でない。

生殖毒性： 分類できない。分類のための情報が十分でない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 分類できない。臓器毒性は報告されていないが、分類のための情報が十分
でない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 分類できない。臓器毒性は報告されていないが、分類のための情報が十分
でない。

誤えん有害性：	分類できない。分類のための情報が十分でない。
その他の情報：	データなし

1 2．環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)：	分類できない。分類のための情報が十分でない。 (参考) 尿素 (CAS 57-13-6) では区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)：	分類できない。分類のための情報が十分でない。 (参考) 尿素 (CAS 57-13-6) では区分に該当しない。
残留性・分解性：	良好な分解性を有する。
生体蓄積性：	データなし。
土壌中の移動性：	データなし。
オゾン層への有害性：	分類できない。モントリオール議定書の付属書に列記されていない。
他の有害影響：	多量に漏出した際には水環境中に富栄養化が発生する恐れがある。 漏洩、廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、土壌、河川や排水溝に直接流れないように対処する。

1 3．廃棄上の注意

廃棄方法：	当該化学品（残余廃棄物）、汚染容器及び包装は、関連法規並びに自治体の基準に従って適切な処分を行う。 処分を委託する際は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。 機器装置や容器等を洗浄した排水は、排水基準を遵守して排出する。排水基準を満たさない場合は適切な排水処理を行うこととし、土壌や排水溝等の環境へそのまま流さない。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。
-------	--

1 4．輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
国連品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 付属書II 及びIBCコードによるばら 積み輸送される液体物質	該当
Freight Classification (NMFTA)	Fertilizing Compound, (Manufactured Fertilizer), Liquid, NOIBN (NMFC Item 68140, Sub 6, Class 70)
国内規制	
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従う。
航空輸送	航空法の定めるところに従う。
陸上輸送	道路法の定めるところに従う。

緊急時応急措置指針番号 非該当

輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策：

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
容器に入れて輸送する際は、容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
火気、熱気、直射日光に触れさせない。
消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法令に定められる運送方法に従うこと。15. 適用法令の項も参照。

15. 適用法令

肥料取締法：	登録済み 登録番号 輸第13478号（液状窒素肥料）
化審法：	肥料のため適用外
化管法：	指定化学物質に非該当
労働安全衛生法：	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条、57条の2、施行令第18条、第18条の2、別表第9関係）に非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
消防法：	非該当
道路法：	車両の通行の制限（施行令第19条の13）に非該当
海洋汚染防止法：	施行令別表第1 Z類物質（97）尿素溶液
船舶安全法（危機則/運輸省告示 第549号（危告示））：	非該当
航空法（施行規則/運輸省告示 第572号）：	非該当

16. その他の情報

引用文献：	本製品の輸入会社による安全データシート		
記載内容の問い合わせ先：	会社名：	片倉コープアグリ株式会社	
	会社住所：	東京都千代田区九段北一丁目8番10号	
	担当部門：	生産技術本部 生産技術部	
	電話番号：	03-5216-6614	
	FAX番号：	03-5216-6621	

記載内容は現時点で入手した信頼できるとされる情報に基づいて JIS Z7252:2019 及び JIS Z 7253:2019 に従い作成していますが、記載内容について保証するものではありません。新たな知見等が明らかとなった場合は、記載内容並びに評価結果等は変更されることがあります。

記載事項は通常の取扱いを対象とするもので、特別な取扱い等の場合には、用途・用法に適した安全衛生対策を処した上、お取扱い願います。

以上（以下余白）